

日ラオス首脳会談に関する共同プレス発表
(骨子)

平成24年3月
外務省

1 総論

- (1) 東日本大震災及びラオスの洪水被害の際に両国から示された支援及び連帯は、緊密な友好関係の証であることを確認。
- (2) 50年以上にわたる外交関係及び協力の中で培ってきた信頼関係は両国共通の資産であることを確認。
- (3) 「恒久的な友好関係及び地域の繁栄に向けた包括的なパートナーシップ」の下での協力を一層推進していくコミットメントを確認。

2 人的交流

- (1) 両国間のハイレベルの交流、政策対話の強化、安全保障・防衛分野における交流の推進。
- (2) 招聘・青少年交流、観光を通じた相互理解の促進。

3 二国間協力

- (1) ラオスの持続可能な経済成長を実現するためには、日本の政府開発援助（ODA）と貿易・投資が重要。
- (2) 南部送電線整備への円借款供与を決定。ラオスのMDGs（ミレニアム開発目標）達成とLDC（後発開発途上国）脱却の取組に対し、日本として①インフラ、②農業、③教育、④保健、の四分野を重視した支援を実施。ラオスは、日本の決定を高く評価。
- (3) ラオスの洪水被害対策として、ノン・プロジェクト無償資金協力の実施を決定。
- (4) 両首脳は、地域経済の統合がラオスの持続可能な成長に資するとの認識を共有。ラオスは、日メコン協力の下での日本の支援を高く評価。
- (5) ラオスは、日本企業の対ラオス進出を促す投資環境整備につき、強いコミットメントを表明。電力、農業や鉱業等の分野への日本企業（含む中小企業）の投資を歓迎。日ラオス官民対話等の枠組を活用した二国間の貿易・投資の増大を期待。

4 地域・国際場裏における協力

- (1) ASEAN統合・連結性強化に向けた協力
- (2) 日メコン協力の進捗確認
- (3) 第9回ASEM首脳会議
- (4) 地域的枠組みにおける協力強化
- (5) 朝鮮半島、安保理改革

(了)